

# シャトルロック製作手順

6A20=10

- 義肢製作施設用 -



---

## 6A20=10 構成内容

- ①ラミネーションアンカー
- ②ロックピン
- ③シャトルロック本体
- ④ラチェットユニット
- ⑤ドーム型ダミ



## 使用する材料/工具

- ・ PVAバッグ(99B81)
- ・ ナイグラスストックネット(623T9)
- ・ ダクロンフェルト(616G6)
- ・ C-オルソクリル(617H55)
- ・ カーボンファイバーシート(616G12)
- ・ ファイバーグラスストックネット(616G13=8)
- ・ カーボンファイバーストックネット(616G15)
- ・ グラスファイバーマット(616G4)
- ・ PVC 両面テープ(616F10)
- ・ プラスチリン粘土(636K6)
- ・ プラスタバンド(636K8)
- ・ ロックタイト

## 製作方法



1. 陽性モデルの断端末のダミーが載る部分を平らにします。ダミーとの間に隙間ができない程度に、断端末のみを修正してください。

シリコンジェルライナーの遠位カップの形状を変えないようにしてください。

形状が変わるとソケット完成後のライナー装着時に、ライナーがソケット底面にうまく納まらないことがあります。



2. ドーム型ダミーを平らにした断端末に、付属の木ネジで留めます。ダミーの中心が断端の長軸に来るように取付けてください。

モデルとダミーの間に隙間ができないようにぴったりと留めてください。

隙間ができた場合はプラスチリン粘土 (636K6) を用いて隙間をふさいでください。



3. ラミネーションアンカーをモデルの形状に合わせて曲げます。

シャトルロック本体をラミネーションアンカーに仮組みし、ラミネーションアンカーの四本のアームをそれぞれA-P、M-L 方向に合うようにセットしてください。

また、ラチェットユニットの取り付け穴が希望の位置に来るようにラミネーションアンカーの位置決めをします。



ハッカーを用いる場合はねじらないように注意して曲げてください。




4. 曲げ終わったラミネーションアンカー。



5. ラミネーションアンカーを外し、ドーム型ダミーを取付けたモデルに PVA バッグ (99B81) をかぶせます。



 その際に左図のように PVA バッグの遠位部分を引張って細くしておくことダミー部分にしわが寄りにくくなります。



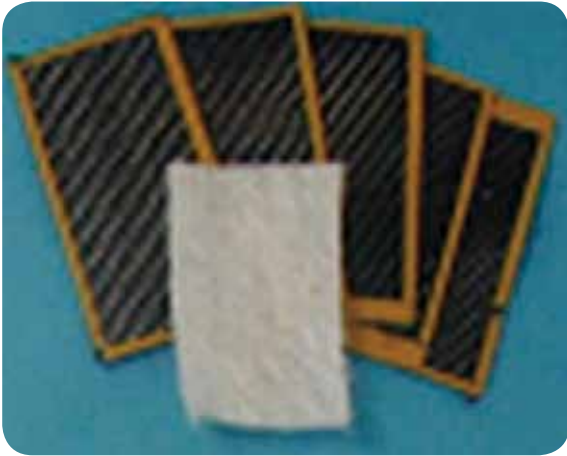
6. PVA バッグの下をバンド(10Y4)で留め、吸引をかけます。



7. ダミーのネジの部分とラミネーションアンカーのロックネジの部分に樹脂が入り込まないよう、プラスチリン粘土(636K6)をすり込みます。  
その後、ダミーをしっかりと締めます。



8. ナイグラスストックネット(623T9)を、必要に応じて数枚かぶせます。ドーム型ダミーが露出するようにダミーの根元部分で絞って折り返してください。  
ラミネーションアンカーにネジ式ダミーを取付けた状態でモデルにセットします。



9. 小さくカットしたカーボンシート(616G12)とダクロンフェルト(616G6)を準備します。



カーボンシートは、カットラインにPVC両面テープを貼ってから切ると、繊維が広がらないので便利です。



10. ラミネーションアンカーの羽根の下にPVC両面テープを使って、ダクロンフェルト(616G6)とカーボンシート(616G12)を貼付けます。

PVCは樹脂に溶けるので、後に残りません。



11. 羽の上からもカーボンシートを貼り、羽根をカーボンシートで挟み込むようにして補強します。





12. 必要に応じて、その上から、ファイバーグラスストックネット (616G13) やカーボン繊維をかぶせます。



ファイバーグラスストックネットは広がり易いので注意してください。



13. 最後にナイグラスストックネット (623T9) を必要に応じて数枚かぶせます。



14. PVA バッグをかぶせます。  
この時点で吸引状態を確認しますが、吸引はまだかけないでください。  
(左の写真は装飾用にカラー布をかぶせています。)



15. モデルの遠位部を下にしてラミネーション樹脂（Cオルソクリル：617H55）を流し込んだ後 PVA バッグの端を結んでおきます。

この段階ではまだポンプで吸引しないでください。



16. PVA バッグ内に樹脂と一緒に封入された空気が上に集まるようにしてポンプで吸引をします。樹脂を上の方（モデル側）に送ります。

モデルを再び立てます。



17. モデルを再び立てて通常のラミネーションを行います。



18. 樹脂を流し終わったらソケット遠位のネジ式ダミーの辺りにたまった余分な樹脂を PVA 上からテープで巻いて、硬化を待ちます。樹脂が硬化したらモデルを外してソケットのトリミングを行って下さい。





19. ソケットのトリミングが終わったらダミー類をはずして  
シャトルロックを組立てます。



20. ラチェットユニットにロックタイをつけて締め込んでくださ  
い。組立てが終わったら、ラミネーションアンカーのロック  
ねじをしっかりと締めます。

ラチェットユニットの白いプラスチック部分はフォームカ  
バーの状態に合わせてカットできます。  
また、取外して使用することも可能です。



21. 完成

#### 掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

# ottobock.

- ・ 掲載内容の無断使用禁止  
掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載する事を禁止します。